

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201010100		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	防災事業		予算事業名	防災事業	
まちづくり目標	市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	災害に対する防災対策を強化する		担当課長	玉田 直人	担当者名	宮下 忠和	
取組み事項	危機管理体制と住民への情報伝達手段を構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名	地域防災計画策定事業			防災行政無線整備事業			
	要援護者名簿管理システム導入事業						
根拠法規及び関連法規	災害対策基本法						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震や台風などの自然災害や、市民の生命、財産や市民生活に重大な被害を及ぼす恐れのある事故等に備え、平常時の事前対策や緊急時の対応等体制を強化する。また、市民への情					

2 事業の概要 Do

実施の概要	災害から市民の被害を軽減するため、行政と地域、市民が一体となった防災施策が必要不可欠であり、また、災害に備えたハード、ソフトにわたる的確な準備が必要である。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	あいおい防災ネット加入者	人	1889	2078	2372	2500
	防災講演会	回	1	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標	23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104
	参事以下職員	1.102	1.172	106	1.146	98	1.100	96
	臨時職員	0.284	0.290	102	0.308	106	0.336	109
支出内訳	人件費	9,682,222	10,056,334	104	9,878,460	98	10,007,361	101
	事業費	14,370,145	8,336,786	58	11,947,124	143	28,206,000	236
	合計	24,052,367	18,393,120	76	21,825,584	119	38,213,361	175
財源内訳	国庫支出金	1,155,000		0		-		-
	県支出金	1,353,521		0		-		-
	市債			-		-		-
	その他	1,746,521		0		-		-
	一般財源	19,797,325	18,393,120	93	21,825,584	119	38,213,361	175
	合計	24,052,367	18,393,120	76	21,825,584	119	38,213,361	175

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1	あいおい防災ネット加入者								
指標説明(式)	加入者数								
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	1700	2200	129.4	2200	100.0	2500	113.6	
	実績	1889	2078	110.0	2372	114.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		あいおい防災ネット加入者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)÷加入者数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	741.2	572.7	77.3	572.7	100.0	518	90.4	
	実績	667	606	90.9	531	87.6			

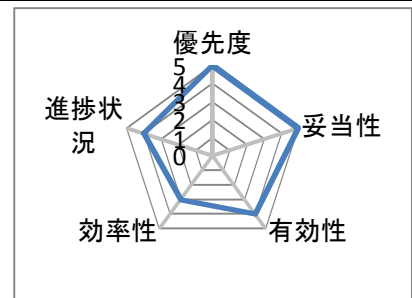
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市民への情報伝達手段として、あいおい防災ネットへの加入を推進しているが、少しずつではあるが毎年伸びている。また、災害時要援護者対策について、避難支援計画個人表の作成を各単位自治会に対して依頼している。	4
	市民サービス	市民への情報伝達については、複数の手段でもって、迅速に確実に行う必要がある。あいおい防災ネットの加入促進に加え、防災行政無線の整備に向け検討を行う。	
効率性	コストの節減	災害時要援護者対策として、右簿の更新作業及び避難支援計画個人表の作成等コストをおさえて実施している。防災関連施策については、特にハード整備には経費が掛かるが、費用対効果を検証し、最少の経費で最大の効果が得られるようコスト削減の工夫を取り組んでいく	3
	手段の最適性	現行の方法が適切と考えるが、今後も手段については、検討していく。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地域防災計画の改訂及び衛星携帯電話の配備については、当初予定通り実施できた。今後、防災行政無線の整備に向け取り組んでいく。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市民への継続した防災に関する啓発が必要であることはもちろんであるが、災害時要援護者への支援策の充実や、情報伝達手段の整備に取り組む必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	市民ニーズに適正に対処し、災害に備える必要があり、災害時要援護者対策については、マニュアルの更なる充実に向けた取り組みを行う。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201020100	事業の種類	4
年度	25	事務事業名	防災訓練事業	予算事業名	防災訓練事業
まちづくり目標		市民とともにつくる安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する		担当課長	玉田 直人
取組み事項		防災意識と知識の普及・啓発を図る		担当者名	宮下 忠和
実施計画事業名				主要事業の指定	
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	市民とともにつくる安全なまち			
	意図(どのような状態にしたいのか)	各地域の実態にあった防災対策等について、市民自らが行動できるように防災訓練において、より実践的な訓練を継続して実施し、市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		各小学校区ごとに、地域住民が主体となった水害等による被害を想定した避難経路や安全地帯等を確認など、より実践的な防災訓練を実施する。また、東日本大震災を教訓に津波被害を最小限に抑えるための津波対応訓練を実施する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	小(中)小学校区防災訓練	回	3	2	1	3
	小(中)小学校区防災訓練	人数	281	233	181	600
	津波対応訓練	人数	1668			

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.076	0.076	100	0.064	84	0.084	131	
	臨時職員	0.020	0.020	100	0.020	100	0.020	100	
支出内訳	人件費	962,344	942,020	98	858,118	91	1,049,333	122	
	事業費	657,768	90,822	14	63,000	69	100,000	159	
	合計	1,620,112	1,032,842	64	921,118	89	1,149,333	125	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,620,112	1,032,842	64	921,118	89	1,149,333	125	
合計	1,620,112	1,032,842	64	921,118	89	1,149,333	125		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		小(中)小学校区防災訓練							
指標説明(式)		開催回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	3	2	66.7	2	100.0	3	150.0	
	実績	3	2	66.7	1	50.0			
指標名2		小(中)小学校区防災訓練							
指標説明(式)		参加人数(H23年度は津波対応訓練を含む。)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	1618	160	9.9	200	125.0	600	300.0	
	実績	1949	233	12.0	181	77.7			

【効率性】

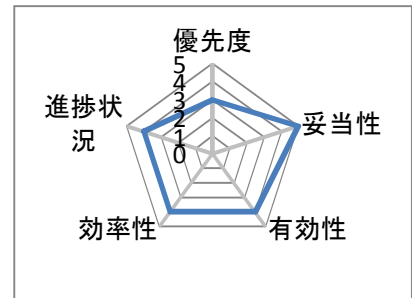
指標名1		小(中)学校区防災訓練参加者1人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費)÷参加者数(H23年度は津波対応訓練を含む。)							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	1077	6673	619.6	5188	77.7	1915	36.9	
	実績	831	4432	533.3	5089	114.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	防災訓練の実施により、地域内の危険箇所や避難経路を再認識するとともに、地域住民が連携して取り組む必要性が習得できたと考える。	4
	市民サービス	地域の防災力の高揚と地域防災力の向上を図ることができた。	
効率性	コストの節減	訓練に必要な資機材等は整備を行うが、最少の経費で最大の効果が得られるよう、訓練内容等を工夫し実施していきたい。	4
	手段の最適性	現行の方法が最適であると考えているが、検討を加えながら最適の方法にて実施していきたい。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	訓練実施計画通りに進んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	地域・市民の防災意識高揚のため、1人でも多くの市民が参加できる訓練実施が必要と考える。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市民の防災意識の高揚及び地域防災力向上のため、引き続き、より実践的な防災訓練の実施を検討する。

配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201020200		事業の種類	4	
年度	25	事務事業名	自主防災組織事業		予算事業名	自主防災組織事業	
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する		担当課長	玉田 直人	担当者名	宮下 忠和
取組み事項		防災意識と知識の普及・啓発を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		地域防災力向上事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民及び自主防災組織					
	誰(何)を対象として	市民及び自主防災組織					
	意図(どのような状態にしたいのか)	平常時から自主防災に対する意識の醸成を図り、もって、災害時とともに助け合うことのできる体制をつくることにより、地域住民の被害を軽減させる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		「自らのまちは、自ら守る」という理念のもとに市民で結成された自主防災組織に対して、訓練指導及び訓練補助を行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	自主防災組織組織率	%	98.8	98.8	98.8	100
	自主防災訓練補助金	団体	6	8	2	17

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.026	93	0.028	108	
	臨時職員	0.012	0.012	100	0.012	100	0.012	100	
支出内訳	人件費	564,608	552,044	98	546,484	99	579,381	106	
	事業費	267,263	348,537	130	93,120	27	556,000	597	
	合計	831,871	900,581	108	639,604	71	1,135,381	178	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	831,871	900,581	108	639,604	71	1,135,381	178	
	合計	831,871	900,581	108	639,604	71	1,135,381	178	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		自主防災組織組織率							
指標説明(式)		自主防災組織結成自治会数 / 自治会数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100	100.0	
	実績	98.8	98.8	100.0	98.8	100.0			
指標名2		自主防災組織活動費補助金							
指標説明(式)		実施団体数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	14	17	121.4	17	100.0	17	100.0	
	実績	6	8	133.3	2	25.0			

【効率性】

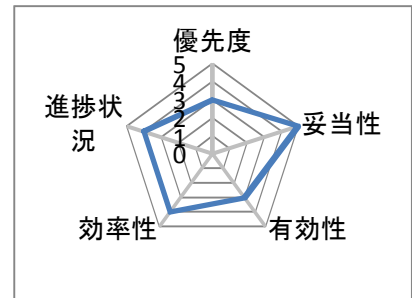
指標名1		自主防災組織活動に係る1団体あたり訓練費							
指標説明(式)		(事業費)／訓練参加団体数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	32143	39643	123.3	32647	82.4	32706	100.2	
	実績	44544	43567	97.8	46560	106.9			
指標名2		自主防災組織訓練参加率							
指標説明(式)		訓練参加団体数／自主防災組織数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
%	目標	26.4	32.1	121.6	32.1	100.0	32.1	100.0	
	実績	11.3	15.1	133.6	3.8	25.2			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	訓練補助金を利用した組織数は減少している。一層の周知が必要である。	3
	市民サービス	自主防災意識向上のため、利用増に向けた取り組みが必要である。	
効率性	コストの節減	補助要綱に基づき適切に執行できた。	4
	手段の最適性	現行の実施方法が最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	対象団体数と比較すると利用団体数が少なく、今後本制度に関する一層の周知が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	対象団体に対して、関係課と連携し更なる制度の周知を行う。

配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030201030100		事業の種類	4		
年度	25	事務事業名	簡易耐震診断推進事業		予算事業名	簡易耐震診断推進事業	優先度	3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち			担当部局名	建設農林部都市整備課		
施策名(中)		災害に対する防災対策を強化する		担当課長	高田 雅仁	担当者名	國重・古川	
取組み事項		地震に対する予防対策を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	住宅						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地震に対する安全性の向上を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		昭和56年以前に建築された住宅を対象に耐震診断技術者を派遣し、耐震診断を実施する。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	診断件数	件	2	3	4		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.188	0.188	100	0.188	100	0.220	117	
	臨時職員		0.000	-		-		-	
支出内訳	人件費	1,799,644	1,759,048	98	1,762,486	100	2,091,009	119	
	事業費	30,000	90,000	300	290,000	322	330,000	114	
	合計	1,829,644	1,849,048	101	2,052,486	111	2,421,009	118	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	1,829,644	1,849,048	101	2,052,486	111	2,421,009	118	
合計	1,829,644	1,849,048	101	2,052,486	111	2,421,009	118		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		診断申込件数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績	1	3	300.0	4	133.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	耐震診断を行い、地震に対する安全性を認識してもらう。	3
効率性	手段の最適性	国、県、市が診断費の補助を行い、住宅の耐震化の向上を図る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している	3

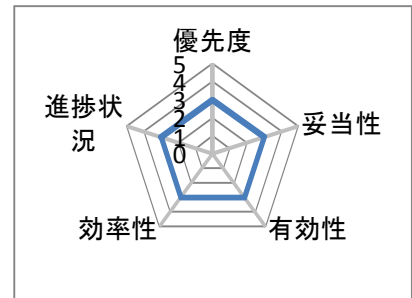
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	耐震診断を行い、地震に対する安全性を認識してもらう。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	啓発活動を行い、耐震診断件数を増やし、地震に対する危機意識の向上を図る。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

事業番号		030202010300		事業の種類		2	
年度	25	事務事業名	消防水利整備事業	予算事業名	消防設備整備事業	優先度	
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課		
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	玉田 直人	担当者名	湯浅 純次
取組み事項		常備消防力を強化する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		消火栓工事負担金					
根拠法規及び関連法規		消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	消火栓・防火水槽					
	意図(どのような状態にしたいのか)	火災による被害を最小限にするため、消火作業に最も必要な消火栓・防火水槽の点検を実施し、水利施設の維持管理を行い、消防力の充実を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消火栓点検、防火水槽点検(1基につき年1回とする)					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	水利調査	基	822	822	823	823	
	消火栓等新設・修理	基	18	11	65	30	

3 投入資源

会計区分		一般会計		事業費単位:円					
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.024	-	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費		306,936	-	317,330	103	324,189	102	
	事業費		3,738,850	-	2,774,900	74	6,263,000	226	
	合計		4,045,786	-	3,092,230	76	6,587,189	213	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源		4,045,786	-	3,092,230	76	6,587,189	213	
合計		4,045,786	-	3,092,230	76	6,587,189	213		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水利調査							
指標説明(式)		消火栓・防火水槽の点検							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
基	目標	822	822	100.0	823	100.1	823	100.0	
	実績	822	822	100.0	823	100.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		消防水利1基あたりの維持金額							
指標説明(式)		(負担金+補修金額)÷水利数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	4943	5463	110.5	4939	90.4	7609	154.1	
	実績	4897	4548	92.9	3375	74.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	消火栓・防火水槽を全て点検し、常に良好な使用状態を維持した。	
効率性	コストの節減	改修工事にあつては、出来る限り道路工事等に併せて実施し、コスト節減に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

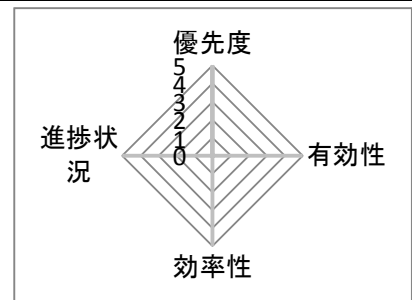
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容



配点	25
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202011200	事業の種類	5
年度	25	事務事業名	西はりま消防組合事業	予算事業名	西はりま消防組合事業 優先度 3
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部企画広報課
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	松尾 次郎
取組み事項		常備消防力を強化する		担当者名	炭田 哲也
実施計画事業名		指令センター 緊急通信指令施設		実施計画への記載	主要事業の指定
根拠法規及び関連法規		車両整備			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	西はりま消防組合			
	意図(どのような状態にしたいのか)	将来発生が予測される地震、風水害、ゲリラ豪雨や竜巻の災害に対応した消防組織の構築と消防基盤の充実、消防体制の強化のため。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防体制の強化のため、3市2町で消防・救急業務を広域で行う。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	組合議会開催数	回数			3	3

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.026	-	0.027	104	
	参事以下職員			-		-		-	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費			-	317,330	-	324,189	102	
	事業費			-	594,326,000	-	613,730,000	-	
	合計			-	317,330	-	324,189	102	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源			-	317,330	-	324,189	102	
合計			-	317,330	-	324,189	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

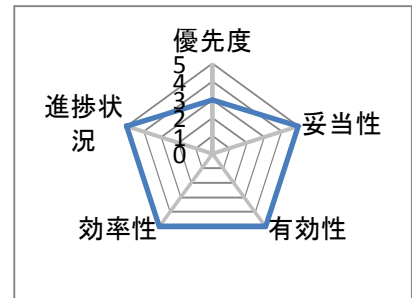
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	広域化により、各消防署の連携が強化され、応援体制等統括されることで市民サービスが向上した。	5
効率性	手段の最適性	広域化により、各消防署の連携が確立され、体制の強化が図れている。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	西はりま消防組合は平成25年4月1日に設立され、消防デジタル無線及び指令センターを整備中であり、計画どおり進んでいる。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	デジタル無線及び指令センター整備について広域化により経費の節減が図れたが、広域化のメリットがより出るよう、今後も車両の配備等協議を進める必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	広域化のメリットが出るよう、今後も車両の配備等協議を進める。

配点	32.5
総合評価	28.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020100		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	消防団活動事業		予算事業名	消防団活動事業	
まちづくり目標		市民とともにつくる安全なまち			担当部局名	企画総務部総務課	
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	玉田 直人	担当者名	湯浅 純次
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		消防分団車庫の移転・改築		消防団無線整備事業			
		消防施設維持修繕(非常備)					
根拠法規及び関連法規		消防組織法、消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民、消防団員					
	誰(何)を対象として	消防団員及び消防団車両等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団活動が円滑に行えるよう消防団車両等消防団装備を維持管理する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防出初式の開催及び消防団車両等の維持管理					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	災害出動人数	人	489	313	205	500	
	訓練出動人数	人	4389	4961	4259	5500	
	出初式参加人数	人	362	369	368	440	

3 投入資源

		会計区分	一般会計		事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.345		0	0.108	-	0.180	167	
	臨時職員	0.000		-	0.060	-	0.020	33	
支出内訳	人件費	3,039,159	306,936	10	1,293,986	422	1,820,309	141	
	事業費	3,099,836	3,477,592	112	2,799,512	81	3,179,000	114	
	合計	6,138,995	3,784,528	62	4,093,498	108	4,999,309	122	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	6,138,995	3,784,528	62	4,093,498	108	4,999,309	122	
合計	6,138,995	3,784,528	62	4,093,498	108	4,999,309	122		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		災害出動人員							
指標説明(式)		出動人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	500	500	100.0	500	100.0	500	100.0	
	実績	489	313	64.0	205	65.5			
指標名2		訓練出動人員							
指標説明(式)		出動人員							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標	5000	5500	110.0	5000	90.9	5500	110.0	
	実績	4389	4961	113.0	4259	85.8			

【効率性】

指標名1		分団車両1台に係る年間維持管理経費							
指標説明(式)		分団車両維持管理経費÷分団車両数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	203750	203782	100.0	167157	82.0	159907	95.7	
	実績	121869	121869	100.0	119848	98.3			

指標名2		分団員一人に係る出初式開催経費							
指標説明(式)		出初式開催に係る経費÷団員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	429	487	113.5	369	75.8	507	137.4	
	実績	368	368	100.0	495	134.5			

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	必要最低限の予算で消防団車両等を適正管理することができた。	5
効率性	コストの節減	最大限のコスト削減に努めた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	5

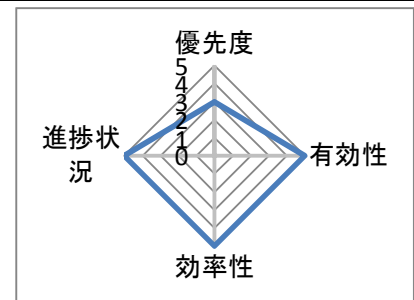
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	これ以上のコスト削減は、消防団活動を管理するうえで支障をきたす恐れがある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	消防団活動を維持管理するための経費は必要であり、消防団活動に支障が生じない範囲でコストの削減を図っていく。



配点	25
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0302020200		事業の種類	3	
年度	25	事務事業名	消防団運営事業		予算事業名	消防団運営事業	
まちづくり目標	市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課			
施策名(中)	消防力の充実、強化を図る		担当課長	玉田 直人	担当者名	湯浅 純次	
取組み事項	非常備消防体制の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		消防組織法、消防法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防団員					
	誰(何)を対象として	消防団員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団員の公務災害補償制度や退職報償等の各種制度を整備することにより、安心して消防団活動が行える環境整備を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防団員の表彰、任免、公務災害・退職報償、報酬、服制、消防殉職者追悼式、その他消防団事務に関すること。					
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画	
	消防殉職者追悼式参列者数	人					
	消防団員数	人	520	518	518	520	
	表彰	人	84	80	86	90	
	退団者数	人	27	23	13	20	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	0.404		0	0.160	-	1.031	644	
	臨時職員	0.000		-	0.934	-	0.048	5	
支出内訳	人件費	3,504,964	306,936	9	3,827,144	1,247	8,725,446	228	
	事業費	56,655,907	42,294,914	75	38,636,773	91	43,910,000	114	
	合計	60,160,871	42,601,850	71	42,463,917	100	52,635,446	124	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	12,300,000	9,623,652	78		0		-	
	一般財源	47,860,871	32,978,198	69	42,463,917	129	52,635,446	124	
合計	60,160,871	42,601,850	71	42,463,917	100	52,635,446	124		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		消防団員数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	520	520	100.0	520	100.0	520	100.0	
	実績	520	518	99.6	518	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

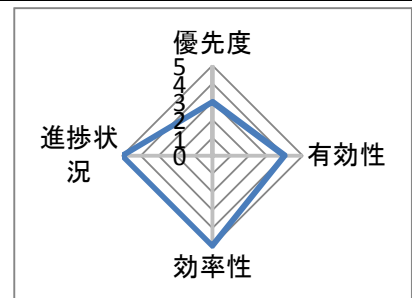
指標名1		消防団運営経費に係る消防団員一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費÷消防団員数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	87409	83843	95.9	85496	102.0	84442	98.8	
	実績	108954	81650	74.9	74588	91.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	全国的に消防団員数の減少が見られる中、機構改革により分団数は減少したが、団員数はほぼ定数を維持している。	4
	成果目標(改善)達成度	消防団活動に対する意識改革により、各分団の出動人員が増加した。	
効率性	コストの節減	消防団運営費に係る団員一人当たりのコストを例年並み維持することができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	当市における人口減少・高齢化社会による団員の確保対策を検討していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	030202020300	事業の種類	3
年度	25	事務事業名	消防操法大会等事業	予算事業名	消防操法大会等事業
まちづくり目標		市民とともに作る安全なまち		担当部局名	企画総務部総務課
施策名(中)		消防力の充実、強化を図る		担当課長	玉田 直人
取組み事項		非常備消防体制の充実を図る		担当者名	湯浅 純次
実施計画事業名				実施計画への記載	無
根拠法規及び関連法規				主要事業の指定	無
事業の目的	誰のために(具体的に)	消防団員			
	誰(何)を対象として	消防団員			
	意図(どのような状態にしたいのか)	消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防人としてより一層の連帯意識を高め、地域住民と一帯となった『安心・安全のまちづくり』を推進する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を目的として、隔年毎に開催される大会に向けて訓練を実施する。				
活動実績	項目	単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度計画
	操法訓練参加人数	人	147	1310		
	操法訓練回数	回	10	51		
	消防フェスタ来場者人数	人	2000	0	0	0

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円				
インプット指標		23年度決算	24年度決算	前年比	25年度決算	前年比	26年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.024	0.024	100	0.026	108	0.027	104	
	参事以下職員	1.464		0	-	-	0.056	-	
	臨時職員	0.000		-	-	-	0.004	-	
支出内訳	人件費	11,873,664	306,936	3	317,330	103	784,033	247	
	事業費	620,000	1,019,224	164	0	0	1,290,000	-	
	合計	12,493,664	1,326,160	11	317,330	24	2,074,033	654	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	12,493,664	1,326,160	11	317,330	24	2,074,033	654	
合計	12,493,664	1,326,160	11	317,330	24	2,074,033	654		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		消防操法訓練回数							
指標説明(式)		訓練回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
回	目標	24	49	204.2	20	40.8	46	230.0	
	実績	14	51	364.3	41	80.4			
指標名2		消防操法訓練参加人員							
指標説明(式)		訓練参加人数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
人	目標	312	970	310.9	200	20.6	1520	760.0	
	実績	353	1310	371.1	804	61.4			

【効率性】

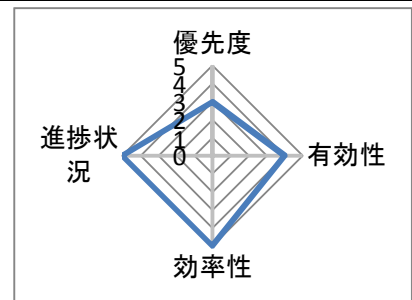
指標名1		消防操法訓練一回あたりのコスト							
指標説明(式)		(人件費+訓練出動手当+訓練・大会経費)÷大会・訓練回数							
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
円	目標	81456	324516	398.4	13520	4.2	69144	511.4	
	実績	917115	51176	5.6	26957	52.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	23年度	24年度	前年比	25年度	前年比	26年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(25年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	消防技術の向上と士気の高揚を図ること及び大会において優秀な成績を収めること。	4
	成果の向上	全体訓練を実施していく中で、分団内部の連帯意識が高まった。	
効率性	執行体制の効率性	分団員が一丸となって効率的な訓練を行うことができた。	5
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	事業計画とおりに行った	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	当市における人口減少・高齢化社会による団員の確保対策を検討していく必要がある。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた26年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	25
総合評価	20